

団体名：戦争法廃止！苫小牧実行委員会

回答日：平成 29 年 8 月 31 日

要請書（回答）

1. 8日付要請書の回答ではオスプレイの苫小牧上空の飛行を18、19日確認しながら、21日、私達へは「苫小牧上空の飛行は不明である」と述べていますが、どういうことでしょうか。納得できません。苫小牧市長も沖縄県知事のように市民の安全安心を守る立場に立つ対応をとるべきではないでしょうか。

【回答】（総合政策部空港政策課）

8月8日要請書を受けた以降も情報収集に努めておりましたが、8月18日には市民から問合せを受け、北海道防衛局に事実確認をしたところ、「米軍の運用に関わることで承知していない」との回答があったところでございます。

そのため、市としましては、オスプレイが苫小牧上空を飛行した事実確認はできておりませんが、市街地上空飛行等を避けるよう、8月18日には北部方面総監部連絡調整所に口頭で要請し、8月21日には北海道防衛局に出向き、強く要請しております。

今後につきましても、事実確認を含めて情報収集に努めるとともに、市民の安心・安全の確保を図るための対応を続けてまいりたいと考えております。

2. 今後も北海道が日米共同訓練の演習場となり、オスプレイ飛行の可能性は高まることが危惧されます。オスプレイが苫小牧市上空を飛行しているのですから、非核平和都市条例を持つ苫小牧市として実態調査を迅速に行い、市民への情報公開を的確に行うべきではないでしょうか。

【回答】（総合政策部空港政策課）

今後の北海道におけるオスプレイ飛行の可能性につきましても、市として情報収集に努めておりますが、現時点では不明となっております。

オスプレイの苫小牧上空飛行につきましても、これまでの事実確認を含めて情報収集に努め、情報が得られましたら、市民の方々へ速やかな情報提供を行ってまいりたいと考えております。